

新技術 導入進む 九州のエネルギー業界

九州のエネルギー業界は九州電力玄海原子力発電所(佐賀県玄海町)の再稼働、4月の都市ガス小売り全面自由化など転機といえる年になりそうだ。原子力発電所の再稼働はベース電源の発電量増加による電力の安定供給、九州電の収支改善につながる。一方で再生可能エネルギーの利用推進は洋上風力発電、潮流発電など新技術の導入がさらに進む見通しだ。また、都市ガスの小売りでは西部ガスの牙城に九州電が切り込む構図となる。

北九州沖合に大型洋上風力発電

安全対策 推進

原子力規制委員会が2013年施行の新規制基準として役割を果たせる状態にようやく回復する原子炉設置変更許可を決定したのは5原発10基。このうち、九州電は川内原子力発電所(鹿児島県薩摩川内市)1、2号機を再稼働済みで、玄海原発3、4号機の再稼働に向けて安全対策や運営管理体制構築などの準備を進めている。

また、九州電は4月に大幅な組織再編を実施する。原発を管轄する原子力発電本部は社長直轄の組織とし、規制対応と組織として九州電のグループ会社や西部ガス、九電などの企業連合を優先交渉者に選定し、最大で出力5200キロワットの大型風力発電機を44基設置し、発電規模は約23万キロワット。総事業費は約1750億円を見込んでいる。計画では22年度以降に着工、順次稼働する。

5社連合

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要

性は変わらない。

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要性は変わらない。

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要

性は変わらない。

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要

性は変わらない。

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要

性は変わらない。

北九州市は同市若松区

の川内原発1、2号機と

国際ルール「パリ協定」

が有効し、温暖化対策の

必要性は増しており、再

生可能エネルギーの重要

性は変わらない。



再稼働に向けて準備が進む九州電力玄海原子力発電所

電気事業者の堀内電。リース会社や金融機関を含めた多くの企業が関与する。現在、4月の実績を待って、2017年の実績を待って、現在、EPC(設計・調達・施工)事業者として、これまでに手がけた太陽光発電は合計約10万キロワットに

16年4月の電力小売りの全面自由化に続き、4月に都市ガスの小売りが全面自由化となる。九州電が都市ガスを販売し、西部ガスは16年11月、

西部ガスは4月1日に新料金メニュー「ピナタメリート契約」を始め、使用量が多いほど割引が大きい。ガス機器の故障などに対応する「ピナタかけつけサービス」も始める。一方、九州電は、電気とのセット契約の新料金プランを設定する。

自由化を踏まえた17年度から3カ年のグループ中期経営計画「スクラム2019」をまとめた。グループで中期経営計画をまとめるのは初めて。事業構造の多様化を進め、課題解決型の提案営業や産業用トガスの販売を強化する。26年度には売上高に占めるガス以外の事業を15年度の約2割から3割に引き上げる。

ガス以外の売上げを5割に

また、九州電のグループ会社や新日鉄住金エンジニアリング(東京都品川区)など4社・団体が長崎県五島沖で潮流発電の実証事業を進めている。19年度までを予定する実証実験では出力2000キロワットの大型潮流発電機を五島の沖合海底に設置する。



福岡県みやま市・大分県豊後大野市 域再生可能エネルギー活用に向けた連携協定調印式

昨10月4日の調印式(左は高野道生みやま副市長、右は橋本祐輔豊後大野市長)

同社は電子機器メーカー、デンケン(同)の子会社で、主電源はデンケンが持つ大規模太陽光発電所。工場などの高圧契約を目標とする。

同社は電子機器メーカー、デンケン(同)の子会社で、主電源はデンケンが持つ大規模太陽光発電所。工場などの高圧契約を目標とする。

地域特性を生かした発電資源

大規模太陽光発電所などを電源とし、加入者に販売する。電力供給だけでなく、生活支援サービスのパッケージ化や電力データを活用した九州大の学の実証事業など地域課題解決に向けた取り組みも展開している。

大分県豊後大野市や鹿児島県いちき串木野市など再生可能エネルギー活用に向けた連携も進め



機を設置している。

鹿児島薩摩川内市にあるらせん水車

家庭向け契約拡大

新電力おおい(大分県由布市)はプロサッカークラブとの提携による知名度向上や地産地消の地域電力を訴求し、一般家庭向け契約数を拡大する。初年度約1000世帯の契約を目指し、19年度末には黒字化したい考えを目標とする。

新電力おおい(大分県由布市)はプロサッカークラブとの提携による知名度向上や地産地消の地域電力を訴求し、一般家庭向け契約数を拡大する。初年度約1000世帯の契約を目指し、19年度末には黒字化したい考えを目標とする。

日刊工業新聞社は、九州・沖縄の企業を応援します。

JR九州メンテナンス株式会社

快適な空間づくりをお手伝い頂く **スタッフを募集しています。**

①ホテル 客室清掃
②ビル清掃・設備管理

詳しくは! <http://www.jrmnt.co.jp>

太陽光発電に取り組んで20年。

堀内電気では太陽光発電設備工事と太陽光発電のメンテナンス事業を行っております。

メソーラー メンテナンス 電気自動車充電スタンド LED照明 電気設備工事

※堀内電気自社発電所です。

HBC 株式会社 堀内電気 ☎ 0120-026-180

〒811-1311 福岡県福岡市南区横手2丁目16番3号 堀内電気 🔍 検索

TEL 092-588-6180 FAX 092-588-6188 <http://www.horiuchi-e.co.jp>

信州から発進! 熱処理・表面処理の総合技術でスピードと価値をお届けします。目的・用途に応じて最適な処理条件を提案し、金属に無限の可能性を与えます。

金型から、機能部品・量産部品を4事業で総合プロデュース致します。

●真空焼入れ・焼き戻し
●時効処理
●光輝焼鈍

真空炉事業部

●PVDコーティング
●EV-X/CN-X/BM-X
●ラジカル窒化処理

コーティング事業部

●焼き入れ・焼き戻し
●ガス浸炭・ガス軟窒化
●高周波焼入れ etc

熱処理事業部

●カチオン電着塗装
●ジオメット処理

表面処理事業部

INTERMOLD2017 熱処理・表面処理フェア に出展します。

2017年4月12日(水)~15日(土) 東京ビッグサイト

松山技研株式会社 URL <http://www.matsuyama-giken.co.jp>

〒386-0407 長野県上田市長瀬1077 TEL.0268-43-0771 FAX.0268-43-0772

ISO 9001 / ISO 14001 認証取得